

## 今日のトピック 史上最高値を更新した米国株式市場 米税制改革法案成立後は再び業績に注目

### ポイント1 史上最高値を更新 大型株は総じて堅調

- 米国株式市場は、12月に入ってから堅調に推移しています。NYダウ工業株30種や大型株指数であるS&P500種、ラッセル1000は12月11日に史上最高値を更新しました。
- 一方、小型株指数（ラッセル2000）や中小型株指数（ラッセル2500）も11月30日に史上最高値を更新しました。

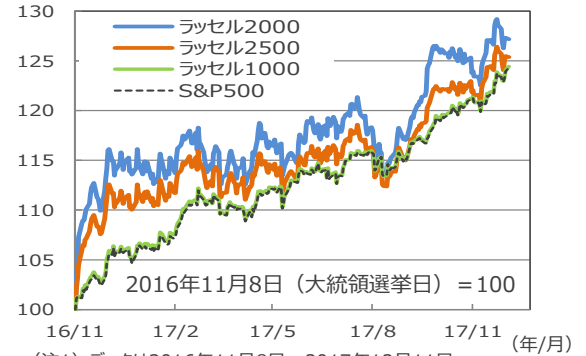
### ポイント2 中小型・大型株の業績は堅調 小型株の業績見通しも好転

- 米国株式市場を支えている企業業績は依然として好調です。11月上旬には、小型株の業績見通しが一時下振れました。これは米税制改革法案に対する期待の低下などが要因でした。その後、米税制改革法案は11月16日に下院本会議を通過し、12月2日には上院本会議を通過したことで、法案成立の可能性が高まり、小型株の予想利益も上方修正されました。

### 今後の展開 米税制改革法案成立後は 再び金融政策や業績に注目

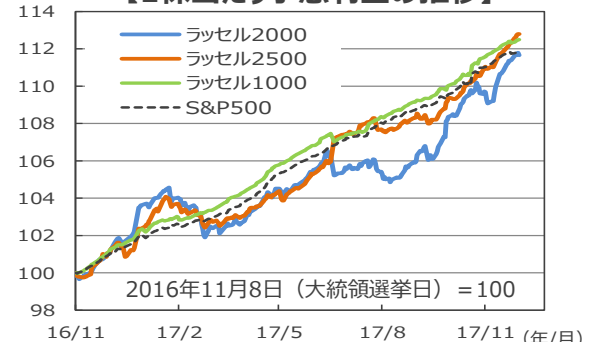
- 上下院は両院協議会で法案のすり合わせを行い、上下院で採決を行う見通しです。これにより、18日の週にも税制改革法案が成立する可能性が高まっています。
- 焦点は、法人税率の引き下げを開始するタイミングや法人税率などです。どのような内容となるかが注目されますが、税制改革法案が成立すれば、マーケットの注目点は、再び金融政策や業績見通しに立ち返ると思われます。
- 12月12日から13日の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、今年3回目となる利上げが予想されています。同時に経済見通しも発表され、FOMCメンバーが利上げの時期やスピードをどのように見ているかが注目されます。
- 年が明ければ、2017年10-12月期の業績発表となります。世界経済の回復と情報技術セクターがけん引する業績見通しに対して、確信度の高まりを見極める展開となりそうです。

【規模別株価指数の推移】



(注1) データは2016年11月8日～2017年12月11日。  
(注2) ラッセル2000：代表的な小型株指数、ラッセル2500：代表的な中小型株指数、ラッセル1000・S&P500：代表的な大型株指数。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【1株当たり予想利益の推移】



(注1) データは2016年11月8日～2017年12月8日。  
(注2) 1株当たり予想利益は12か月先予想（Bloomberg L.P.予想）。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも  
チェック! 2017年12月11日 順調な拡大を示す米国の雇用統計（2017年11月）  
2017年11月28日 最近の指標から見る米国経済（2017年11月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。